

## 定期報告（ウルグアイ内政・外交：2017年1月）

### 【内政】

#### 1 2017年の主要方針

28日及び29日、2017年最初の閣議がコロニア県アンチョレーナの大統領別邸で開催され、本年の主要課題と、補正予算案の内容が検討された。大統領府の発表によれば、2017年の主要方針は以下のとおり。

- (1) 2015、2016年は困難が多い年であったが、責任・一貫性のある慎重な政権運営によりそれらを乗り越えることができた。本年も政権発足からの2年間と同様に対応する。
- (2) 2014年選挙で公約として掲げた課題を達成するため引き続き努力する。
- (3) 政府は、透明で、互いを尊重した対話を通じた、社会により添う政権運営という方針をより深化させ強化することにより、ウルグアイ国民の生活の質を向上させることができると確信している。

また、補正予算案についてバスケス大統領及びアストリ経済財務大臣は、教育、治安、社会保障、住居等の社会政策費の増額を掲げている。

### 【外交】

#### 1 ウルグアイ・米国社会保障協定の締結

10日、ウルグアイと米国は社会保障協定に署名し、約5万人の在米ウルグアイ人及び約5千人の在ウルグアイ米国人がその恩恵を受けることとなる。

#### 2 在ホーチミン・ウルグアイ総領事館の開設

- (1) 14日、ホーチミンに領事館を開設し、Nguyen Viet Loan Foster ウルグアイ名誉領事は、通商、人的交流、文化交流、観光等の促進に力を入れると述べた。
- (2) ウルグアイとベトナムは昨年4月、貿易投資に関する合意に署名した。二国間貿易は昨年11月末現在で1億ドルだが、右は両国のポテンシャルに比して少ないと見られている。
- (3) ニン・ノボア外相は昨年10月の訪問時、まずベトナムとの間で、続いて他のASEANメンバー国との間で貿易を拡大する可能性について述べた。

### 3 ニン・ノボア外相の南極訪問

- (1) 18日、ニン・ノボア外相一行は、南極を訪れ、ウルグアイのアルティガス基地を視察した。
- (2) 南極滞在中、チリ及び中国の基地を訪問した。
- (3) 外相には、デ・レオン住宅土地整備環境大臣、国防次官、運輸公共事業次官、Dong Xiaojun 在ウルグアイ中国大使等が同行した。

### 4 中国との国防分野における二国間条約の議会提出

19日、ウルグアイ大統領府は、中国との国防分野の条約を議会に送り承認を求めた旨大統領府ホームページに掲載したところ、概要以下のとおり。

- (1) 2016年10月18日、当時中国訪問中のバスケス大統領は本条約に署名した。
- (2) 条約は、機材、武器、付属品、部品及び一次製品の調達、譲渡、無償供与、また軍備についての情報・技術移転、研究、共同生産、人材交流、技術・ロジ支援を促進する目的で作成された。
- (3) 軍事物品や関連技術を、提供した側の書面による許可なく第三国に移譲することはできない。また、申告によらない利用も認められない。
- (4) 条約が議会で承認されれば、有効期間5年で延長が可能。

#### 【治安・社会】

##### 1 再生可能エネルギー供給量の増加

工業エネルギー鉱業省国家エネルギー庁が発表したエネルギー統計（2015年版）によれば、ウルグアイのエネルギー・マトリックスの57%が再生可能エネルギーであり、2015年に50%を達成するという政府目標を上回った（電力に限った場合、93%が再生可能エネルギー）。

##### 2 コンドル作戦に関与した元軍人への判決

17日、イタリアのローマ裁判所は、コンドル作戦（70年代から80年代にかけて、南米諸国の軍事独裁政権が互いに協力して反体制派を抑圧した作戦）でイタリア国籍を持つ市民を強制失踪させたとして起訴されていたボリビア、チリ、ペルー及びウルグアイの元軍人

に対する判決を下した。内14名のウルグアイ人については、軍政時代のブランコ元外相以外は全員無罪となった。センディック副大統領はローマを訪問し、同判決を傍聴した。

### 3 腐敗認識指数

25日、Transparency International（NGO）が発表した腐敗認識指数（国の公的部門の腐敗認識を基にしたスコア）ランキングによれば、ウルグアイは全体で21位、中南米地域では1位と高順位であった（注：日本は20位）。

#### 【要人往来】

##### ○往訪

・16日～17日、センディック副大統領訪伊

##### ○来訪

なし

（了）